

## 平成25年度施策評価調書

整理番号	20
評価担当課	建築課

### 1 施策の名称等

施策名(基本事業)	住宅マスタープランの見直し及び推進		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	8	住宅の整備

### 2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	市民が安心して快適に暮らすことができ、環境にやさしい住まいやまちをつくるため、平成19年度に策定した計画の見直しを行い、後期計画に反映させる。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	将来実現したい暮らし方、それを実現するための目標、目標を達成するための具体的な方策を考え、豊かな住生活を推進するためのガイドラインを策定する。
施策の課題	民間空き家の増加に伴い、住宅セーフティーネットとしての公営住宅と民間賃貸住宅の役割の明確化や仕組みづくりが必要となる。また公営住宅の整備手法やまちなか居住の方法も検討が必要。

### 3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H22	H23	H24	目標年度(29年度)
住宅マスタープランの見直し及び推進	平成20年度～29年度の計画の中間年であることから社会情勢の変化に応じた見直しを行った	目標値			1	1
		実績値			1	1
		進捗率			100%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

### 4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	平成24年度に前期5カ年の計画の見直しを行い、後期5ケ年における公営住宅や民間住宅における住宅セーフティーネットの方向性や少子高齢化に伴う福祉と連携した居住環境の形成、まちなか居住推進のための借り上げ公営住宅等の検討などを策定した。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

後期5カ年について関係部局や団体と連携して取り組む。

6 外部評価の意見等

7 2次評価の意見等

豊かな住環境整備のため、適正なガイドラインを策定した。今後も計画に即した取り組みが必要。

8 施策を構成する事務事業

(1)H24年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H24決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	住宅マスタープランの見直し及び推進	平成20年度～29年度の中間年となることから社会情勢の変化に伴い見直を実施	8,270	a	a	a	a	a	A		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)